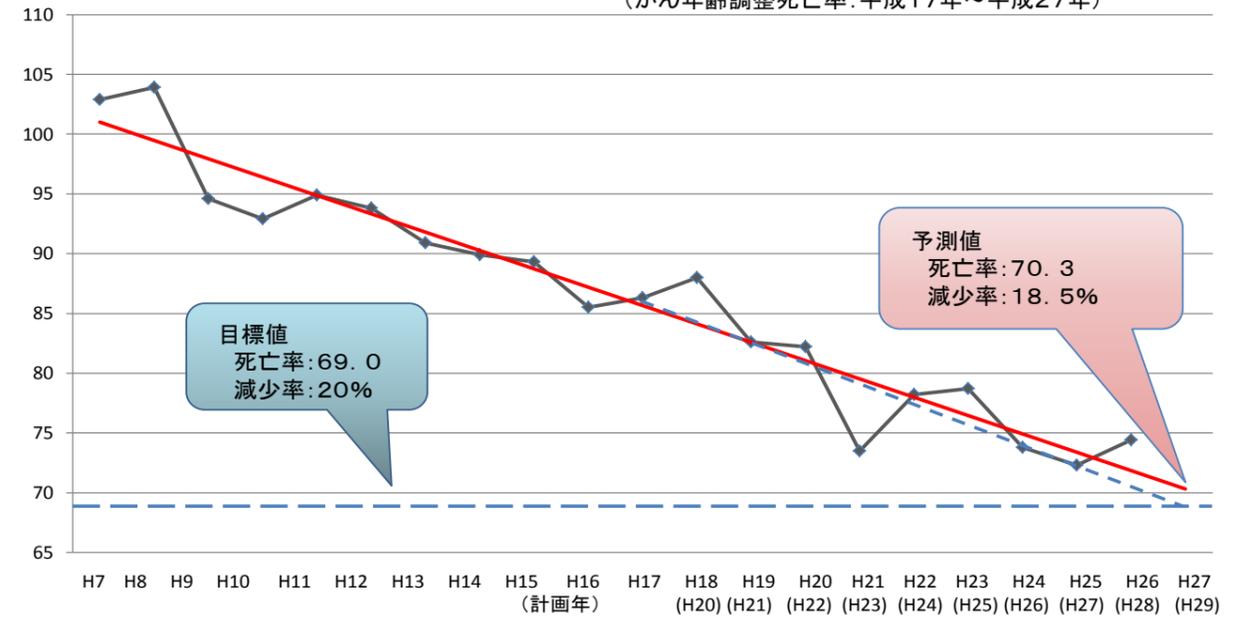


山梨県がん対策推進計画(第2次) 進捗状況

第2次がん対策推進計画 数値目標一覧及び目標達成状況

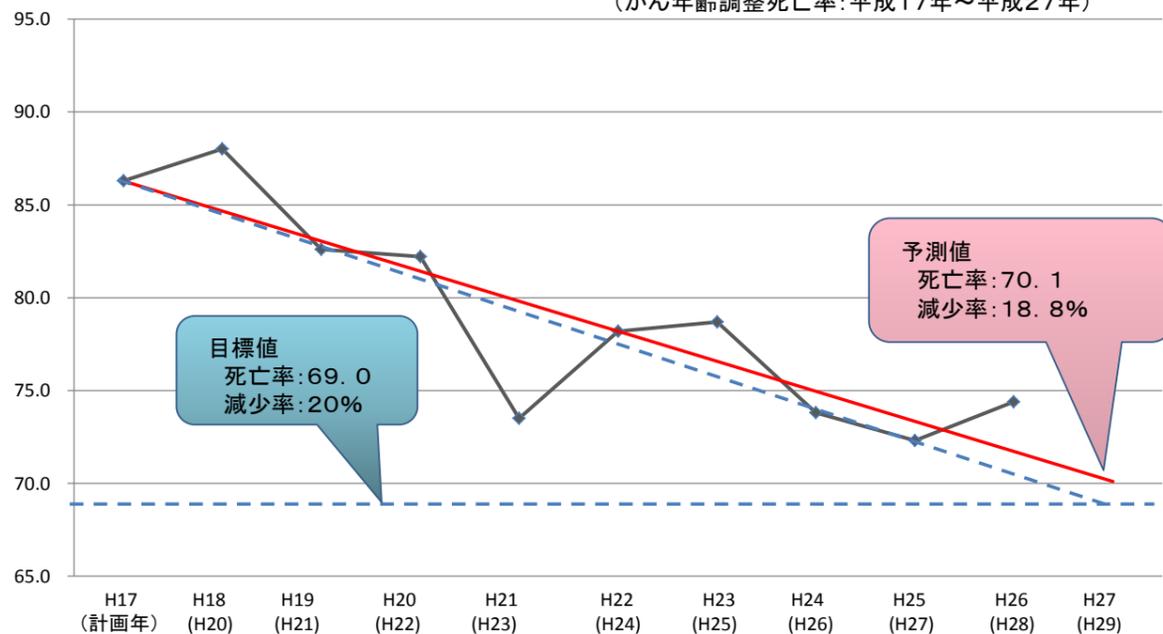
【山梨県】がん年齢調整死亡率(75歳未満)の推移 (平成7年～平成27年【予測】)

山梨県がん対策推進計画(第1次～第2次)
計画期間:平成20年度～平成29年度
(がん年齢調整死亡率:平成17年～平成27年)

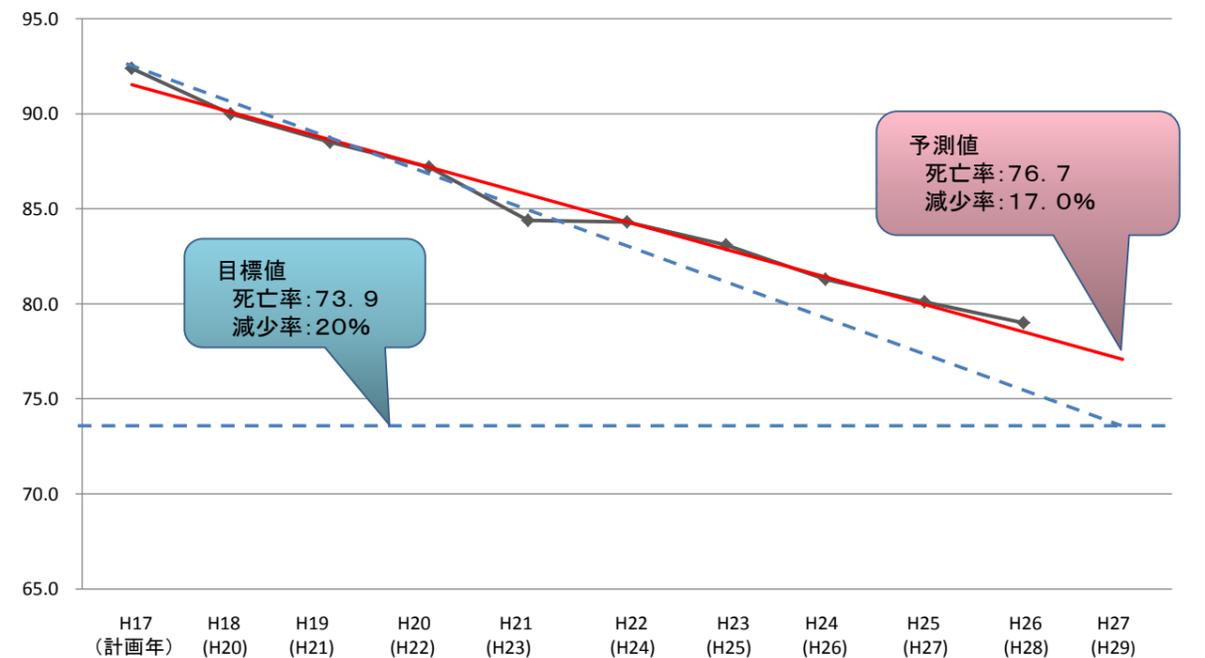


【山梨県】がん年齢調整死亡率(75歳未満)の推移 (平成17年～平成27年【予測】)

山梨県がん対策推進計画(第1次～第2次)
計画期間:平成20年度～平成29年度
(がん年齢調整死亡率:平成17年～平成27年)



【国】がん年齢調整死亡率(75歳未満)の推移 (平成17年～平成27年【予測】)



第2次がん対策推進計画 数値目標一覧及び目標達成状況

【全体目標】

目標項目	計画策定時	第2次計画策定時	平成27年度末時点最新データ		目標値	目標達成状況取組内容 初年度から現在を比較 (達成:青 達成間近:水色 課題有り:ピンク)	出典
がんによる死亡者の減少「がんの年齢調整死亡率(75歳未満)の20%減少」	(H17) 男女計(人口10万対) 全がん年齢調整死亡率 86.3 胃 12.4 大腸 11.6 肝臓 14.9 肺 12.3 乳房 7.6 子宮 3.5	(H22) 男女計(人口10万対) 全がん年齢調整死亡率 78.2 胃 11.2 大腸 9.6 肝臓 8.8 肺 12.5 乳房 8.3 子宮 4.4	(H26) 男女計(人口10万対) 全がん年齢調整死亡率 77.4 胃 8.0 大腸 11.4 肝臓 6.6 肺 11.6 乳房 10.5 子宮 4.9	(計画策定時比較) 13.7 % 減少 35.4 % 減少 1.7 % 減少 55.7 % 減少 5.6 % 減少 38.1 % 増加 40.0 % 増加	(H27) 男女計(人口10万対) 全がん年齢調整死亡率 69.0 (20.0%減少) (国の目標値) 全がん年齢調整死亡率:76.7(20.0%減少)	◆計画策定時に比べ13.7%減となり、昨年の16.2%と比べると緩やかな減少である。 ◆平成17～26年のデータから、平成27年の全がん年齢調整死亡率予測を行うと、70.1(18.8%減少)と予測される。 (国の状況) 予測値(H27) 死亡率:76.7(17.0%減少) ☆年齢調整死亡率については、近年の県のデータの変動を含めた評価が必要ではないか。	人口動態統計 国立がん研究センター・がん対策情報センター「がん死亡統計」
全てのがん患者とその家族の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上							
がんになっても安心して暮らせる社会の構築	—		—				

【数値目標】

目標項目	計画策定時	平成27年度末時点最新データ	目標値	目標達成状況	出典	
成人喫煙率	(H21) 成人喫煙率 21.2% (参考 男性 37.2%、女性 8.3%)	(H26) 参考 男性 33.7%、女性 6.7%	(H34) 13.9% (参考 男性 24.5%、女性 5.4%)	◆計画策定時に比べ喫煙率の低下、受動喫煙による不快な思いをしている者は減少し改善している。 ◆敷地内禁煙事業所は市町村・学校・病院は改善している。 ◎平成27年度実施した喫煙対策実施状況調査の結果を活かし、事業の推進を図っていく。 ☆禁煙支援については、プログラムの普及を目標とするのではなく、市町村の禁煙支援の状況を把握することも必要ではないか。	県民栄養調査	
未成年者の喫煙率	(H23) 高3男子 3.6%、高3女子 2.6% 中1男子 0.9%、中1女子 0.0%	(H23) 高3男子 3.6%、高3女子 2.6% 中1男子 0.9%、中1女子 0.0%	(H34) 高3男子 0%、高3女子 0% 中1男子 0%、中1女子 0%		子どもの喫煙等母子保健関係調査	
受動喫煙で不快な思いをしている人の割合	(H21) 48.5% 官公庁施設 5.1%、医療・福祉施設 6.7% 学校 4.2%、職場 29.4%、飲食店 59.7%	(H26) 38.0% 官公庁施設 6.5%、医療・福祉施設 3.7% 学校 0.9%、職場 24.9%、飲食店 51.2%	(H29) 減少		県民栄養調査	
敷地内禁煙事業所の割合	(H22) 県の機関 14.9%、市町村の機関 3.8%、 国の機関 2.1%、小学校 79.7%、 中学校 75.8%、高等学校 85.0%、 支援学校 91.7%、大学・短大 12.5%、 民営事業所 5.9%、病院 28.3%	(H26) 県の機関 13.7%、市町村の機関 9.0%、 国の機関 2.3%、 学校(小中高・支援学校) 92.2% 大学・短大 41.7%、 民営事業所 6.0%、病院 45.5%	(H29) 増加		山梨県喫煙対策実施状況調査	
禁煙支援プログラムの普及	(H23) 10市町村	(H27) 6市町村	(H29) 27市町村		健康増進課調査	
子宮頸がん予防ワクチン接種率	(H23) 小学6年生 90.5% 中学3年生 87.2%	(H24) 中学1年 78.6% 中学2年 92.1% 中学3年 82.0% 高校1年 79.7%	(H29) 小学6年生 95.0% 中学3年生 95.0%		子宮頸がん予防ワクチン接種(緊急)促進事業費補助金実績報告	
子宮頸がん予防ワクチンを知っている人の割合	(H23) 68.6%	(H23) 68.6%	(H29) 100%			
肝がんの75歳未満年齢調整死亡率を平成28年度までに全国平均まで改善	(H22) 山梨県 8.8 全国 7.6	(H26) 山梨県 6.6 全国 5.6	(H28) 全国値まで改善		◆年齢調整死亡率は計画策定時に比べかなり改善している。 ◎肝炎患者への治療費助成や平成26年度から開始したウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業など、肝がん予防に向けた取組を引き続き推進していく。	人口動態調査
市町村検診でC型肝炎ウイルスの感染が判明した者の医療機関受診率の向上	(H22) 46.9%	(H26) 60.2%	(H28) 95.0%		健康増進課調査	
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合	(H21) 男性 11.9% 女性 3.4%	(H26) 男性 13.0% 女性 7.8%	(H34) 男性 10.1% 女性 2.9%		県民栄養調査	
運動習慣	(H23) 20～59歳 男性 23.0% 女性 29.6% 60歳以上 男性 45.0% 女性 45.4%	(H23) 20～59歳 男性 23.0% 女性 29.6% 60歳以上 男性 45.0% 女性 45.4%	(H34) 20～59歳 男性 35.0% 女性 40.0% 60歳以上 男性 55.0% 女性 55.0%	◆野菜摂取量は目標を達成している。 ◎塩分摂取量は減少傾向にあるが、減塩キャラクターや減塩レシピなどを活用し、引き続き事業を推進していく。 ◎平成26年度実施した県民栄養調査の結果分析を行い、県民へのわかりやすい情報発信や優先すべき施策の検討を行い、生活習慣改善事業の推進を行っていく。	県民健康づくり実践状況調査	
野菜と果物の摂取量	(H21) 野菜摂取量 335g 果物摂取量100g未満の者 47.6%	(H26) 野菜摂取量 335g 果物摂取量100g未満の者 58.1%	(H34) 野菜摂取量 350g 果物摂取量100g未満の者 24.0%	県民栄養調査		
塩分摂取量	(H21) 11.1g	(H26) 10.5g	(H34) 8.0g	県民栄養調査		

目標項目		計画策定時		平成27年度末時点最新データ		目標値		目標達成状況		出典
がんの早期発見	がん検診受診率	(H22)*69歳以下の検診受診率 胃がん 37.4%(全国10位) 肺がん 31.9%(全国7位) 大腸がん 29.0%(全国13位) 子宮頸がん 31.3%(過去2年40.5%)(全国13位) 乳がん 40.9%(過去2年49.4%)(全国2位)		(H25)*69歳以下の検診受診率 胃がん 49.0%(全国6位) 肺がん 54.5%(全国4位) 大腸がん 45.8%(全国3位) 子宮頸がん 40.2%(過去2年48.4%)(全国3位) 乳がん 48.6%(過去2年54.9%)(全国1位)		(H29)*69歳以下の検診受診率 胃がん 50.0% 肺がん 50.0% 大腸がん 50.0% 子宮頸がん 50.0% 乳がん 50.0%		◆すべてのがん検診において受診率が上昇した。 ◆肺がん検診受診率は目標を達成した。 ◎子から親へのメッセージ事業を小学生まで拡大、サポートチームの活用、企業との連携など引き続き事業を実施していく。 ◎子宮頸がん検診は「子宮頸がん検診受診率向上モデル事業」等、若い世代の受診率向上を目指した取組を実施していく。		国民生活基礎調査
	精密検査受診率	(H22) 76.0%		(H26) 72.7%		(H29) 100.0%		◆精検受診率は(H25)70.9%と比較上昇している。 ◎引き続き、市町村・検診機関等関係者会議を開催し受診率向上を目指していく。		
	市町村における、精度管理・事業評価及び科学的根拠に基づくがん検診の実施	(H23) 19市町村(67.9%)		(H27) 25市町村(93%)		(H29) 27市町村(100.0%)		◆計画策定時に比べ増加している。 ◎目標達成に向け市町村への働きかけを引き続き実施していく。		健康増進課調査
がん医療の充実	多職種でのチーム医療の体制を整備	-		(H26) すべての拠点病院において、多職種でのチーム医療を実施		(H27) すべての拠点病院で整備 ・多職種で構成された放射線治療チームの設置 ・多職種で構成された化学療法チームの設置 ・各種専門医師、歯科医師との連携による質の高い周術期管理体制の整備		◆すべての拠点病院が平成27～31年まで指定更新された。また、新たに山梨厚生病院が県立中央病院とグループ化することで地域がん診療病院の指定を受けた。 ◆すべての拠点病院において多職種でのチーム医療体制が整備され、また緩和ケア提供体制整備が図られている。		健康増進課調査
	専門医配置の有無等、がん患者にとって分かりやすい情報提供を行う	-		やまなし医療ネット、各がん診療連携拠点病院ホームページ等で情報提供		(H29) すべての拠点病院で情報提供体制を整備		◎がん診療連携拠点病院連絡協議会緩和ケア部会と協働する中で、目標達成に向け緩和ケア研修会の開催回数を増やすなど、受講しやすい環境づくりにも努めていく。		健康増進課調査
	医療従事者が基本的な緩和ケアを理解し、知識と技術を習得	-		(H27) 緩和ケア研修会 医師604名修了 緩和ケア指導者講習会受講者数 8名		(H29) すべての拠点病院で、がんに関わる全ての医師が緩和ケア研修を修了				健康増進課調査
	専門的な緩和ケアの提供体制の整備の促進と質の向上	-		(H25) すべての拠点病院において、緩和ケアチーム・緩和ケア外来などの緩和ケア提供体制整備を実施		(H27) すべての拠点病院で整備 ・専門的な緩和ケアの提供体制				健康増進課調査
相談支援・希少情報提供	相談支援センター及びがん患者サポートセンターの利用件数	-		(参考 H24データ) 山梨県立中央病院 1,215件 山梨大学医学部附属病院 2,800件 市立甲府病院 449件 富士吉田市立病院 2,926件 山梨県がん患者サポートセンター 85件	(H27) 山梨県立中央病院 4,830件 山梨大学医学部附属病院 1,973件 市立甲府病院 1,099件 富士吉田市立病院 2,570件 山梨県がん患者サポートセンター 89件	年間の利用件数 増やす		◆拠点病院における相談件数は増加、サポートセンターの相談件数は横ばいである。		健康増進課調査 (拠点病院：現況報告)別紙39 (サポートセンター：委託実績報告)
	相談支援相談員の質の向上と適正な人材配置	-		(参考 H24データ) *がん対策情報センター基礎研修修了者 山梨県立中央病院 3名 山梨大学医学部附属病院 4名 市立甲府病院 3名 富士吉田市立病院 1名	(H26) H26.9.30現在 山梨県立中央病院 6名 山梨大学医学部附属病院 4名 市立甲府病院 5名 富士吉田市立病院 1名	(H29) すべての拠点病院の相談支援センターに配置 ・がん看護専門看護師、社会福祉士、臨床心理士等		◎がん診療連携拠点病院連絡協議会相談支援部会とがん患者サポートセンター、県とが協働する中で、相談のより一層の充実を図っていく。		健康増進課調査 (現況報告)
	拠点病院の相談支援センターと地域の県がん患者サポートセンターの連携体制	-		(H26) 会議・研修会を通じ連携体制を構築		(H29) すべての拠点病院の相談支援センターと連携が図れる				健康増進課調査
	県外医療機関との連携・協力体制の確立と相談支援体制の整備	-		(H26) セカンドオピニオン希望者に対し県内外医療機関を紹介		(H29) すべての拠点病院の相談支援センターにおいて体制の整備が図れる				健康増進課調査
がん研究	がん登録の精度向上	(2008年罹患集計) DCN 29.8% I/M 2.34 DCO 11.8% MV 76.2%		(2012年罹患集計) DCN 19.6% I/M 2.20 DCO 7.7% MV 78.5%		向上させる		◆がん登録精度は向上している。 ◎がん登録データを解析し県民へわかりやすく還元していく。 ◎がん登録等の推進に関する法律施行も踏まえ、より一層の精度向上に向け医療機関と連携を図っていく。		全国がん罹患モニタリング集計
	活用しやすいがん登録	-		-		活用しやすいがん登録の実現				-
	ゲノム解析センターの整備	-		(H25) ゲノム解析センターの開設		(H25) ゲノム解析センターの開設		◆ゲノム解析センターを平成24年度に開設。 ◆県民公開シンポジウムにおけるがん医療に関する理解度は高い。		健康増進課調査 (県民公開シンポジウム)
がんの普及啓発	学校でのがんに関する普及啓発(学習活動)	-		(参考 H24データ) リーフレットの作成・配布・学習での活用 小学6年生 中学3年生 高校1年生	(H27) リーフレットの作成・配布・学習での活用 小学6年生 中学3年生 高校1年生 } 全公立学校で活用	(H29) 小・中学校、高等学校で、がんに関する普及啓発(学習活動)を実施する		◆中・高校で開始したがん教育は平成25年度より対象を小学生にも広げた。公立学校におけるがん教育実施率は100%である。 ◆県民公開シンポジウムをはじめ、各機関・団体等ががんをテーマにした講演会・シンポジウム等が開催されている。		健康増進課調査
	県民に対する効果的な普及活動の推進	-		(参考 H24データ) 県民公開シンポジウムの開催 380名参加	(H27) 県民公開シンポジウムの開催 160名参加	県民が、がん予防、早期発見、緩和ケア等について正しい理解ができる				健康増進課調査
	相談支援体制の整備	-		(H26) セカンドオピニオン希望者に対し県内外医療機関を紹介		(H29) すべての拠点病院で、県外医療機関との連携・協力体制の確立と相談支援体制の整備ができる				健康増進課調査 (拠点病院機能強化事業補助金)
就労を含めた社会的な問題	がん患者が仕事と治療の両立が図れる事業所	-		-		(H29) 増やす		◆就労に関する研修会等を通じ事業所の理解を求めている。 ◆がん患者サポートセンターにおける就労に関する相談は少ない。		健康増進課調査
	社会的な問題に対応できる相談員を配置	-		(H27) (参考：サポートセンター相談内容) 治療(32件)、症状(16件)、精神的不安(26件)、医療者との関係(13件)、療養上の悩み(17件)、経済的不安(2件)、就労(3件)、その他(26件)、緩和ケア(1件)		(H29) 拠点病院の相談支援センター及び地域の県がん患者サポートセンターに社会的な問題に対応できる相談員を配置		◎がん患者の就労に関する実態調査と併せ、情報発信を機会ある毎に実施していく。		健康増進課調査

山梨県がん対策推進計画(第2次)アクションプランにおける県内市町村の取組 (市町村に対する健康増進課調査項目)

区分		数値目標項目	H28年度～国庫補助対象外	取組内容 (初年度から現在を比較 達成:青 達成間近:水色)	取組内容 (初年度から現在を比較 変化なし:きいろ)	取組内容 (初年度から現在を比較 課題有り:ピンク)	
がんの予防	たばこの害の普及啓発			たばこ対策や喫煙の健康への影響等の普及啓発を推進			
	防煙教育の推進					市町村教育委員会との連携による防煙教育の推進	
	禁煙希望者支援	27市町村				禁煙支援プログラムによる禁煙希望者への支援とフォロー(現在:6市町村 22%)	
	受動喫煙防止対策					受動喫煙対策の啓発と市町村施設の受動喫煙対策の実施	
	普及啓発と学校現場での学習活動					がん予防の普及啓発を推進	
	肝炎、肝がんの早期発見、早期治療	95%		肝炎ウイルス検査の実施 肝炎ウイルス検査結果説明会時の保健指導の徹底と陽性者のフォロー(現在:27市町村 100%)	肝臓硬度測定機による肝がん検診の促進	肝疾患の病態に応じたレシピの周知と活用推進	
	健康増進の推進			市町村健康増進計画の推進			
	生活習慣病の発症予防			健康増進事業等の実施			
	食育・食生活改善促進			食育の推進・食生活改善の促進			
	がんの早期発見	がん検診受診率向上普及啓発			がん検診の内容や必要性、受診率向上のための普及啓発	子から親に向けたがん検診メッセージ事業(県)への協力	
がん検診の学習活動						市町村教育委員会との連携によるがんに関する学習活動の推進	
がん検診受診率向上と精密検査未受診者へのフォローの促進				○	対象者名簿(検診台帳)を整備し、受診率を把握		
				○	がん検診推進事業(がん無料クーポン券)の促進		
					対象者個人に対する受診勧奨、未受診者への再勧奨		
					検診受診の利便性向上に向けた取組		
					要精密検査者に対する個別受診指導の実施		
					がん検診実施機関や精密検査実施医療機関との連携による精密検査未受診者や精密検査受診者の結果等の適切な把握		
がん検診の精度管理と質の向上			27市町村		科学的根拠に基づいたがん検診の実施(現在:25市町村 93%)	事業評価のためのチェックリストによる自己点検の実施	
						がん検診事業評価に必要なプロセス指標を正確に把握し県に報告	
					生活習慣病検診管理指導協議会における事業評価結果や技術的助言を踏まえ検診の実施体制を改善		
がん医療の充実	緩和ケアの推進				緩和ケアや在宅医療に関する普及啓発		
	地域医療体制構築				地域ネットワークづくりと関係者との連携の強化		
相談支援・情報提供	相談支援・情報提供の推進				県、拠点病院推進協議会で作成する冊子の活用	がん医療等に関する相談支援の活動状況の普及啓発	
地域がん登録がん研究	地域がん登録事業の精度向上とデータの活用			県が実施する生存確認調査への協力	院内がん登録を実施する医療機関が実施する生存確認調査への協力		
					地域がん登録事業のデータを活用したがん対策の企画		
	がん研究の推進				がん研究への協力		

区分		取組内容	数値目標項目	H28年度から国庫補助対象外項目	H25年度	各項目の単年平均実施率	H26年度	各項目の単年平均実施率	H27年度	各項目の単年平均実施率	H28年度	各項目の単年平均実施率	
がんの予防	たばこの害の普及啓発	たばこ対策や喫煙の健康への影響等の普及啓発を推進			26	96%	27	100%	27	100%	26	96%	
	防煙教育の推進	市町村教育委員会との連携による防煙教育の推進			10	37%	9	33%	8	30%	6	22%	
	禁煙希望者支援	禁煙支援プログラムによる禁煙希望者への支援とフォロー	27市町村		10	37%	10	37%	6	22%	6	22%	
	受動喫煙防止対策	受動喫煙対策の啓発と市町村施設の受動喫煙対策の実施			23	85%	23	85%	22	81%	20	74%	
	普及啓発と学校現場での学習活動	がん予防の普及啓発を推進				25	93%	24	89%	21	78%	17	63%
		子宮頸がん予防ワクチン推奨年齢(中1)への接種勧奨				27	100%	1	4%	0	0%	0	0%
		肝疾患コーディネーターによる正しい知識の普及啓発				9	33%	8	30%	7	26%	5	19%
	肝炎、肝がんの早期発見、早期治療	肝炎ウイルス検査の実施				27	100%	27	100%	27	100%	27	100%
		肝炎ウイルス検査結果説明会時の保健指導の徹底と陽性者のフォロー	95%			24	89%	25	93%	26	96%	27	100%
		肝臓硬度測定機による肝がん検診の促進				1	4%	5	19%	7	26%	8	30%
		肝疾患の病態に応じたレシピの周知と活用推進				6	22%	6	22%	6	22%	4	15%
	健康増進の推進	市町村健康増進計画の推進				26	96%	25	93%	26	96%	27	100%
	生活習慣病の発症予防	健康増進事業等の実施				27	100%	27	100%	27	100%	27	100%
食育・食生活改善促進	食育の推進・食生活改善の促進				27	100%	27	100%	25	93%	26	96%	
がんの早期発見	がん検診受診率向上普及啓発	がん検診の内容や必要性、受診率向上のための普及啓発			27	100%	27	100%	27	100%	27	100%	
		子から親に向けたがん検診メッセージ事業(県)への協力			9	33%	12	44%	12	44%	14	52%	
	がん検診の学習活動	市町村教育委員会との連携によるがんに関する学習活動の推進				6	22%	7	26%	6	22%	2	7%
		対象者名簿(検診台帳)を整備し、受診率を把握		○		25	93%	25	93%	25	93%	23	85%
	がん検診受診率向上と精密検査未受診者へのフォローの促進	対象者個人に対する受診勧奨、未受診者への再勧奨				25	93%	26	96%	26	96%	27	100%
		がん検診推進事業(がん無料クーポン券)の促進		○		27	100%	27	100%	27	100%	25	93%
		検診受診の利便性向上に向けた取組				26	96%	27	100%	27	100%	27	100%
		要精密検査者に対する個別受診指導の実施				26	96%	27	100%	27	100%	26	96%
		がん検診実施機関や精密検査実施医療機関との連携による精密検査未受診者や精密検査受診者の結果等の適切な把握				25	93%	27	100%	27	100%	27	100%
		要精密検査未受診者への受診勧奨の促進(コール・リコールシステムの導入等)				23	85%	25	93%	27	100%	27	100%
	がん検診の精度管理と質の向上	がん検診事業評価に必要なプロセス指標を正確に把握し県に報告				17	63%	19	70%	19	70%	18	67%
生活習慣病検診管理指導協議会における事業評価結果や技術的助言を踏まえ検診の実施体制を改善					17	63%	19	70%	18	67%	18	67%	
科学的根拠に基づいたがん検診の実施		27市町村			24	89%	25	93%	24	89%	25	93%	
事業評価のためのチェックリストによる自己点検の実施					16	59%	15	56%	19	70%	18	67%	
がん医療の充実	緩和ケアの推進	緩和ケアや在宅医療に関する普及啓発			11	41%	16	59%	13	48%	13	48%	
	地域医療体制構築	地域ネットワークづくりと関係者との連携の強化			15	56%	16	59%	17	63%	14	52%	
相談支援・情報提供	相談支援・情報提供の推進	がん医療等に関する相談支援の活動状況の普及啓発			15	56%	17	63%	16	59%	13	48%	
		県、拠点病院推進協議会で作成する冊子の活用			13	48%	14	52%	12	44%	14	52%	
地域がん登録がん研究	地域がん登録事業の精度向上とデータの活用	県が実施する生存確認調査への協力			0	0%	0	0%	26	96%	26	96%	
		院内がん登録を実施する医療機関が実施する生存確認調査への協力			16	59%	18	67%	16	59%	17	63%	
		地域がん登録事業のデータを活用したがん対策の企画			11	41%	10	37%	11	41%	11	41%	
	がん研究の推進	がん研究への協力			16	59%	16	59%	12	44%	14	52%	
					全項目(36項目)単年平均実施率	658	68%	659	68%	669	69%	652	67%

山梨県がん対策推進計画(第2次)アクションプランにおける医療機関・医療従事者の取組【平成25～28年度】

※1 実施している ○ 今後取り組む予定 △ 実施予定なし ×

区分		取組内容 初年度から現在を比較 (達成:青 達成間近:水色 課題有り:ピンク)	数値 目標	H25 年度	平均 実施率	H26 年度	平均 実施率	H27 年度	平均 実施率	H28 年度	平均 実施率	
がんの予防	たばこの害の普及啓発	喫煙の健康への影響等の普及啓発		2	50%	2	50%	3	75%	4	80%	
	防煙教育の推進	地域や学校における防煙対策への協力・支援		1	25%	1	25%	2	50%	2	40%	
	禁煙希望者支援	禁煙希望者への禁煙治療及び相談支援		3	75%	3	75%	3	75%	3	60%	
	受動喫煙防止対策	受動喫煙対策の啓発と医療機関の受動喫煙対策の実施		4	100%	4	100%	4	100%	5	100%	
	普及啓発と学校現場での学習活動	がん予防の普及啓発		3	75%	3	75%	3	75%	4	80%	
		肝疾患コーディネーターの養成		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%	
	肝炎対策推進と医療体制整備	肝炎に関する医療体制の整備		4	100%	4	100%	3	75%	5	100%	
	肝炎、肝がんの早期発見、早期治療	専門的な知識、技能を有する従事者の確保		4	100%	4	100%	4	100%	5	100%	
	生活習慣病の発症予防	重症化予防の推進		2	50%	2	50%	3	75%	4	80%	
がんの早期発見	がん検診受診率向上普及啓発	がん検診の内容や必要性、受診率向上のための普及啓発		2	50%	2	50%	3	75%	4	80%	
	がん検診受診率向上と精密検査未受診者へのフォローの促進	精密検査を受けやすい医療体制整備の推進に努める		2	50%	2	50%	3	75%	4	80%	
		精密検査受診者の結果報告還元への協力		2	50%	2	50%	2	50%	3	60%	
がん医療の充実	・放射線療法、化学療法、手術療法の更なる充実とチーム医療の推進	医療従事者が研修を受けやすい環境整備と研修会等への積極的な派遣に努める		4	100%	4	100%	4	100%	5	100%	
		がん種ごとのカンファレンス(カンサーボード)を開催するなどの確な診断と治療を行う診療体制整備に努める		4	100%	4	100%	4	100%	5	100%	
		手術療法、放射線療法、化学療法の各種医療チームを設置するなどの多職種でのチーム医療の促進に努める		4	100%	4	100%	4	100%	4	80%	
		医科歯科連携や栄養管理、リハビリテーション等の職種間連携の促進に努める		4	100%	4	100%	4	100%	5	100%	
	・がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成	各診療科の連携、がん看護体制の更なる強化に努める		4	100%	4	100%	4	100%	5	100%	
		緩和ケアに関する啓発や講演会の開催		4	100%	4	100%	4	100%	5	100%	
		拠点病院連絡協議会緩和ケア部会の開催		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%	
		拠点病院における緩和ケア研修の開催		4	100%	4	100%	4	100%	4	80%	
・地域医療・介護サービス提供体制構築	緩和ケアチームや緩和ケア外来などの緩和ケアの提供体制整備の促進に努める		4	100%	4	100%	4	100%	5	100%		
	在宅療養支援診療所等との勉強会の開催		2	50%	2	50%	4	100%	4	80%		
相談支援・情報提供	相談支援・情報提供を担う人材育成と資質向上	医療従事者が研修を受けやすい環境整備と研修会等への積極的な派遣に努める	○	4	100%	4	100%	4	100%	5	100%	
相談支援・情報提供	相談支援・情報提供の推進	拠点病院は、診療実績や相談支援センターの活動内容の公表とPR		3	75%	3	75%	4	100%	4	80%	
		がん治療を行う医療機関では、相談支援センター、がん患者サポートセンター等の相談窓口及び活動内容について紹介		4	100%	4	100%	4	100%	5	100%	
		拠点病院連絡協議会でのがん医療等に関する冊子の作成と内容の直し、更新		4	100%	4	100%	4	100%	4	80%	
		がん治療を行う医療機関では、県、拠点病院連絡協議会で作成する冊子を活用		4	100%	4	100%	4	100%	4	80%	
	相談支援体制整備と連携体制の構築	拠点病院は、がん看護専門看護師、社会福祉士、臨床心理士等の相談支援センターへの配置に努める		○	3	75%	3	75%	3	75%	3	60%
		拠点病院の相談支援センターは、他の相談支援センター、がん患者サポートセンターとの情報共有、協力体制整備に努める			4	100%	4	100%	4	100%	4	80%
		拠点病院の相談支援センターは、ピア・サポートによる相談支援との連携協力を図り適切な情報提供と相談支援に努める			1	25%	1	25%	3	75%	3	60%
	拠点病院は、小児がん患者の早期発見や治療後のフォローアップ、希少がん患者の診断、治療に関する研修会の開催			1	25%	1	25%	1	25%	0	0%	
地域がん登録 がん研究	地域がん登録事業の精度向上とデータの活用	院内がん登録の実施と地域がん登録への積極的な協力		4	100%	4	100%	4	100%	4	80%	
		院内がん登録実務者の育成と資質向上のための研修参加への環境整備		4	100%	4	100%	4	100%	5	100%	
		院内がん登録情報からの医療機関体制等の評価、見直し		3	75%	3	75%	3	75%	4	80%	
		拠点病院連絡協議会院内がん登録部会における研修会の開催と情報提供		3	75%	3	75%	1	100%	1	100%	
	がん研究の推進	都道府県拠点病院では、ゲノム解析センターの整備を図り研究を推進		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%	
		ゲノム解析センターでは、研究成果を、個々の遺伝子情報を基にした医療(オーダーメイド医療)や疾病管理に活用		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%	
	がん研究に関する研修会等の開催		1	25%	1	25%	2	50%	2	40%		
がんの教育・普及啓発	県民への普及啓発	がん予防等の普及啓発の推進		4	100%	4	100%	4	100%	4	80%	
	相談支援体制の整備	相談支援センターの相談支援、情報提供機能の強化		4	100%	4	100%	4	100%	5	100%	
がん患者の就労・社会的問題への取組	就労を含めた社会的問題への取組	がん患者が働きながら治療が受けられるための配慮		3	75%	3	75%	3	75%	3	60%	
		拠点病院では、相談支援センターに社会的な問題に対応できる相談員を配置するよう努める		2	50%	2	50%	2	50%	2	40%	
		拠点病院では、就労に関し関係機関との連携の強化に努める		1	25%	1	25%	1	25%	2	40%	